



Topics 1

教職員の皆さまへ

令和8年度が始まりました。新しい学校、新しい組織——それぞれの立場で、緊張と期待の入り混じる日々を迎えておられることと思います。私にとって令和7年度は、学校をはじめとする多くの現場で、教職員の皆さんが子どもたちと真摯に向き合う姿に触れ、そのひたむきさと情熱に、何度も胸を打たれる一年でした。また、大きな勇気を与えてくれたのは、子どもたちの姿でした。「トビタテ！留学 JAPAN」で世界に飛び出した高校生。「技能検定」に挑戦する特別支援学校の生徒。英語で自分の地域を紹介しようとする小・中学生。それぞれの子どもたちがたくましく成長する姿を見て、教育のもつ「底力」を感じました。

一方で、この春、私たちは一つの重い課題を胸に刻み、出発しなければなりません。私は、就任以来、不祥事ゼロを掲げ、覚悟を持って取り組んでまいりました。しかし、児童への盗撮や飲酒運転、相次ぐ教職員の逮捕という、極めて深刻な事態を招きました。これは、私の力不足であり、痛恨の極みです。何よりも、日々接していた先生を失った子どもたちの心の傷、そして損なわれた信頼の大きさを思うと、今も胸が締め付けられます。不祥事は、組織全体の活力と誇りを根底から揺るがします。

私は「夢のかけ橋 第103号 (令和7年12月発行)」において、『不祥事根絶～この「危機的状況」を克服する、教職員の行動変革～』と題し、「再発防止」と「信頼回復」を強く訴えました。今、私たちに求められているのは、形式的な取組の継続ではありません。「なぜ起きてしまうのか」という本質に向き合い、一人ひとりの内面にある規範を問い直し、磨き直すことです。勤務時間外であっても自らを律し、「自分の言動は、子どもたちに誇れるものか」を問い続けること。こうした服務規律の確保について、年度初めに、会計年度任用職員も含め、全教職員で共有してください。

そして、「マルチリトメント (不適切な関わり)」を根絶し、子ども一人ひとりをかけがえのない存在として尊重すること。この当たり前の原点に立ち返ることこそが、失った信頼を取り戻す唯一の道であると、私は確信しています。危機を防ぐ鍵は、ルールや規制だけでなく、人と人との温かなつながりにあります。職員室は、互いの変化や悩みに気づき、声を掛け合える場所になっているでしょうか。一人で抱え込んでいる人はいないでしょうか。皆さんには、ぜひ「気づきのプロ」であってほしいと思っています。

さて、令和8年度は「第3期教育大綱・第4期教育振興基本計画」の折り返しの3年目を迎えます。学力向上、キャリア教育、不登校への対応、教職員の働きやすさと働きがいの向上——これらすべては、子どもたちの幸せのため、そしてその基盤となる、皆さんの心身の健康と日々の充実のためにあります。「先生の笑顔が、子どもの笑顔を生み出す」この言葉を、皆さんと分かち合いたいと思います。まずは、互いの良さも弱さも認め合い、支え合える「きらっと いきいき あったかい 職員室」を皆さんの手で築いてください。その心のゆとりと温かなまなざしが、子どもたちが安心して挑戦できる「きらっと いきいき あったかい 教室 (居場所)」を生み出します。

私は、本年度もできる限り現場を訪れ、皆さんの声に真摯に耳を傾け、必要な支援をためらうことなく行ってまいります。その決意のもと、昨年度「夢のかけ橋 第99号 (令和7年4月発行)」でお約束した三つのことを、改めて申し上げます。

- 一 「第3期教育大綱・第4期教育振興基本計画」に基づく取組を着実に進めること。
- 二 学校をはじめとする現場に徹底して向き合うこと。
- 三 常に「子どもの未来のために」という視点に立ち続けること。

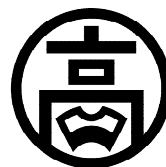
子どもたちは、私たちの未来から託された、かけがえのない宝です。その子どもたち一人ひとりが自らの可能性を最大限に伸ばし、個性豊かに輝く「きらっと いきいき あったかい 高知家の教育」の実現に向け、共に悩み、共に支え合い、共に前へ進んでいきましょう。本年度も、どうぞよろしくお願ひいたします。



高知県教育長
今城 純子



動画もぜひ
ご視聴ください！



きらっと いきいき あったかい
高知家の教育

第3期教育大綱・第4期高知県教育振興基本計画（第2次改訂）について

令和6年3月策定の「第3期教育等の振興に関する施策の大綱・第4期高知県教育振興基本計画」は、4年間の計画期間の折り返しを迎えました。これまでの様々な取組や事業の推進により、着実に成果が実りつつある一方で、依然として解決すべき課題も残されており、そこで、社会の動向や本県の状況、関係者との対話でいただいたご意見を踏まえ、取組をさらに強化するために、令和8年3月に第2次改訂※を行いました。

今後も、市町村教育委員会や各学校、関係機関等と連携しながら、計画に基づく教育施策を推進していきますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

（※詳しくは、教職員 Groupware のキャビネット「教育政策課」に格納している第3期教育大綱・第4期基本計画（第2次改訂）本文をご確認ください。）

第3期教育大綱・第4期高知県教育振興基本計画の目指す人間像（基本理念）を実現するための3つの基本目標と4つの基本方針

目指す人間像（基本理念）

- ◆ 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人
- ◆ 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人
- ◆ 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人

目指す人間像（基本理念）を実現することで、個人が持続的に幸せを感じ、また、地域や社会もよい状態が続く「ウェルビーイング（Well-being）」の実現にもつながる。

目指す人間像を実現するための基本目標

基本目標 1 確かな学力の育成と、自己の将来とのつながりを見通した学びの展開

社会に出て自らの夢や志を実現していくための基礎となる知識・技能やこれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力、生涯にわたって学び続ける意欲を育む。

基本目標 2 健やかな体の育成と、基本的な生活習慣の定着

生涯にわたって、たくましく生きていくための基礎となる、体力や健康的な生活習慣を育む。

基本目標 3 豊かな心の育成と、多様性・包摂性を尊重する教育の推進

社会の中で多様な人々と互いに尊重し合い、協働し、社会に参画しながら人としてよりよく生きていくための基礎となる、自尊感情、夢や志、他者への思いやりや人権意識、規範意識、公共の精神などの豊かな人間性・道徳性・社会性を育む。また、「不登校」については、決して問題行動ではないことを前提として、「魅力ある学校づくり」「早期発見・早期支援」「多様な教育機会の確保」による支援を行う。

本文「とざまなチャンネル」を、ぜひご覧ください！
高知県教育委員会
公式Vtuber 土佐まなぶ

第3期教育大綱 第2次改訂のポイント（R8.3月）

第3期教育大綱・第4期基本計画の第2次改訂は、
○社会の動向や本県の状況、各種会議や関係者との対話でいただいた意見等を踏まえ、
以下の5つのポイントを中心に取組を強化
また、目標に対して適切な指標であるかを改めて点検し、改訂に反映

① 学力向上・定着の取組強化 デジタル技術を効果的に活用した授業改善や授業外学習を充実

- > <小中> デジタル技術を活用した個別最適な学習の充実 <対話型AIの活用の拡充、高知県学力定着状況調査のCBT化 等>
- > <小中> 授業外学習習慣の確立 <学校と家庭の密接な連携の促進、効果的に学習を促す学校の取組例の収集・発信 等>
- > <高等> 切れ目のない学習体制・環境の構築 <学力に課題がある生徒を支援するエンカレッジティーチャーの配置、学習用資与端末の整備 等>
- > <高等> 各校に応じた指導方法の研究・共有 <各校の「授業デザインプロジェクトチーム」の取組強化 等>

② 地域への理解と愛着を育むキャリア教育の推進 県内の産業・企業や文化を知り、学ぶ機会を拡充

- > 進学・就職の場面を想定した実効的な「知る機会」の拡充 <県内国公立大学との連携強化、県内の魅力ある企業を知る機会の拡充 等>
- > 子どもの進路選択に影響を持つ保護者や教員へのアプローチの強化 <PTAと連携したキャリア教育の推進、教員のキャリア教育指導力の向上 等>
- > 保・幼・小・中・高の発達段階に応じた、高知県らしいキャリア教育の拡充 <「みらいスイッチ体験ツアー」や「新しい学校のリーダー研修」の実施、モデル地域を核としたふるさと高知キャリア教育の推進 等>

③ 重層的な支援体制の整備・強化によるいじめ防止・不登校対策の推進 魅力ある学校づくりの推進と早期支援に向けた体制強化

- > 生徒指導上の諸課題の未然防止のための教育プログラムの実施と推進 <「SOSの出方教育」の推進 等>
- > 専門人材・関係機関等と連携した学校の体制強化による早期発見・早期支援の推進 <核となるスクールカウンセラー（SC）の配置、「学校問題解決支援コーディネーター」の配置 等>
- > 個々の児童生徒に応じた学びの場の充実（多様な教育機会の確保） <校内サポートルームの設置拡充、学びの多様な学校への支援 等>

④ 高等学校の魅力化・特色化 高等学校改革の推進とさらなる魅力化に向けた取組の充実

- > 今後の社会を見据えた高等学校改革を推進 <多様な学びのニーズに対応した新しい学科やコースの開設、通信制協力校の開設に向けた支援 等>
- > 中山間地域等の小規模校（13校）の生徒数確保に向けた取組を一層推進 <中山間地域等の高等学校に通う生徒の通学費への新たな支援 等>
- > デジタル技術活用を拡充し、学習の充実や利便性をさらに推進 <遠隔教育充実に向けた配信スタジオの環境強化、電子出願システムの構築 等>
- > 国の基本方針（グランドデザイン）を踏まえた高校教育改革の推進 <グランドデザインを踏まえた高校教育改革実行計画の策定 等>

⑤ 教職員の働きやすさと働きがいの向上 子どもたちによりよい教育を行うための働き方改革を一層推進

- > 学校におけるワークライフバランスを確保した働き方改革の推進 <業務量管理・健康確保推進実施計画に基づく働き方改革の実施、部活動の地域展開・地域連携の推進 等>
- > 教職員の「共働き・子育て」の推進 <教職員の男性育休取得を促進する市町村の取組の支援 等>
- > 教職員の人材確保 <働き方改革の取組や教員の魅力などの情報発信の強化、教員採用一次審査の自治体共同実施に向けた準備の推進 等>

現役の高校生や現場の中堅教員、教育事務職員、地域の方々の対話でいただいた「意見」「声」を参考にし、年次改訂に反映

詳しくは、高知県教育委員会事務局ホームページや教職員 Groupware キャビネット（教育政策課）をご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/310101/>

問い合わせ 教育政策課 教育企画担当
TEL : 088-821-4731

命を守るヘルメット！ ～自転車通学時のヘルメット着用の推進について

高知県では、「高知県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」により、18歳以下の児童生徒がヘルメットを着用することが保護者の努力義務となっています。また、令和5年4月1日に改正道路交通法が施行され、全ての自転車利用者に対してヘルメットの着用が努力義務となっています。これは、「大切な命を守るため、自転車に乗る時にはヘルメットを着用する社会をみんなで創っていきましょう」というメッセージでもあり、実現へ向け、学校の教職員も公務員として率先してヘルメットを着用することが必要です。

生徒の大切な命を守るため、県立学校では昨年度から通学用自転車登録時に自転車ヘルメットの所有を条件とし、着用の定着に向け取り組んでいます。校則等で自転車通学の際はヘルメット着用を義務付ける学校も増え、着用率も年々増加しています。児童生徒はもちろん、教職員も命を守るヘルメットの着用を進めていきましょう。

●取組内容「自転車ヘルメット着用推進事業」

- 自転車の安全利用に関する意識の向上を図るため、指導・啓発活動を充実
- 児童生徒の登下校中の安全確保に向けた取組を充実
- 中高生のヘルメット着用促進を図るため、ヘルメット購入費用の一部を助成

●自転車ヘルメット購入費の助成について

対象 県内の小中高校生で、自転車通学をしている児童生徒（18歳以下）
助成内容 **〈県立・私立・国立学校〉**
 販売協力店において、一人2,000円値引き ※私立・国立学校は、県私学・大学支援課が所管
〈市町村立学校〉
 市町村によって、助成の有無や内容が異なります。詳しくは、各市町村教育委員会にお問い合わせください。



令和8年度啓発ポスター

デザイン
春野高等学校（作成当時）
深瀬 達也さん



知ってますか？自転車の交通ルール ～交通反則通告制度（通称青切符）

令和8年4月1日より、自転車の交通違反に対して、交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）が導入されました。これにより、16歳以上の自転車運転による悪質・危険な違反行為に対して、反則金の納付が求められるようになります。厳罰化の背景には、運転者自身だけでなく歩行者の安全をも脅かすような自転車運転の増加があることを踏まえ、教職員も児童生徒も一人一人が交通ルールを正しく理解し、安全運転を心がけることが必要です。

反則金の対象となる主な交通違反と金額

ながらスマホ（携帯電話の使用）：12,000円 信号無視：6,000円 二人乗り：3,000円
 遮断時の踏切への立ち入り：7,000円 夜間の無灯火：5,000円 ブレーキの不良：5,000円
 傘差し運転、イヤホンで音楽等を聞きながらの運転※：5,000円 等

※イヤホンを片耳のみに装着しているときや、オープンイヤー型イヤホンや骨伝導型イヤホンのように、装着時に利用者の耳を完全には塞がないものについては、安全な運転に必要な音又は声が聞こえる限りにおいて、違反にはなりません

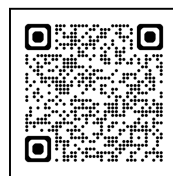
交通反則通告制度の導入を見据え、昨年12月には国が設置する官民連携協議会より「自転車の交通安全教育ガイドライン」が示されました。このガイドラインには就学前から高齢者に至るまで、各発達段階で警察、保護者、学校などが行う自転車の交通安全教育の内容がまとめられています。是非一読いただき、子どもが事故の被害者にも加害者にもならないために、園、学校にできることを再考いただきたいと思います。



また、高知県警・県教委では交通安全教育の教材「Traffic Safety News (TSN)」を隔月1回、中学・高校に提供しています。

こちらではヘルメットの着用をはじめ、交通ルール・マナー（自転車の車道左側通行や交差点での一時停止など）など自転車の安全利用に関する様々な題材を取り上げています。

過去に発行されたものが県警ホームページ「こうちのまもり」に掲載されているほか、最新号を6月頃に県立学校、市町村（学校組合）教育委員会に送付する予定です。児童生徒が安全に自転車を利用できるよう、ぜひ交通安全指導に活用ください。



文部科学省ホームページ
『「自転車の交通安全教育ガイドライン」の周知・活用の推進について』



詳しくは学校安全対策課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312301/>



学校安全対策課 学校安全担当
 TEL：088-821-4533

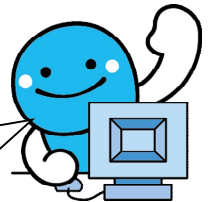
学校安全の取組は、児童生徒の心身を守るうえで欠かすことのできない重要な教育活動です。新年度が始まった段階で下記の内容を共有し、管理職のリーダーシップのもと、学校安全担当教員を中心にすべての教職員が一丸となり、計画的に学校安全の取組を進めることが大切です。

- 「学校安全担当教員」の校務分掌への位置付け（管理職以外の教員）と各教職員の果たす役割
- 「危機管理マニュアル」、「学校再開計画」等に記載された危機事象への対応（危機管理体制と各担当の役割）
- 「安全教育全体計画」「学校安全計画」に記載された中長期的な取組内容（育成を目指す児童生徒の資質・能力や、各学年別重点目標）

また、阪神・淡路大震災及び能登半島地震は、早朝や休日の勤務時間外に発生しています。勤務時間外であっても大規模災害が発生した際は自身の安否を報告し、安全を確保したうえで学校に参集することが必要となります。あわせて、児童生徒の安否確認などを行うことも必要です。新年度となり、新しい教職員、新入生を迎えるにあたっては、教職員の参集体制の更新・共有や、安否確認方法に関する周知徹底を早期に行うことが危機管理として必要になります。



学校安全対策課では、学校安全に関する研修用動画を公開しゆきね。年度初めの取組確認などに使うてちや。
(左二次元コードリンク先より視聴できます。)



詳しくは学校安全対策課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/312301/>



学校安全対策課 学校安全担当
TEL : 088-821-4533

「まなび場 Search」で地域の講座やイベントを発信中！

県内のあらゆる「学び」場と学んだことを「活かす」場の情報を、生涯学習ポータルサイト「まなび場 Search」に掲載中！

2次元コードからご自身に合った講座等を探してみてください🔍

高知県教育委員会事務局生涯学習課委託事業 高知県生涯学習ポータルサイト



まな *Viva!* び場 Search

＼とさまなチャンネルに公開した新着動画／



〈高知家の学校給食〉 vol. 1
毎日の給食に込められた思い



高校生が本気でデジタル技術に向き合ったプログラミングキャンプに密着！
みんなあ楽しく真剣に頑張りゆうね～



触れて、学んで、未来へ踏み出す！
探究型プログラミングキャンプ



おいしい給食がみんなあに届くまでの裏側を大公開しちゆうで！
僕も給食食べたいな💎

取材協力：香美市土佐山田学校給食センター
香美市立山田小学校

心の教育センター利用案内（相談支援・居場所づくり）

心の教育センターでは、不登校や学校のこと、いじめ、進路、子育てなど、子どもや保護者、教職員のさまざまな悩みに対応しています。相談方法は来所、電話、メールの窓口をご利用頂けます。

進級・進学に伴う環境の変化や、長期休み明けの生活リズムの乱れが原因で、子どもたちの心身や行動にストレス反応として不調が現れることがあります。そんなときは当センターまでお気軽にご相談ください。

また、うまく言葉に出来ない気持ちや、なんとなく心がざわつくときも、一人で悩まずにご相談ください。スクールカウンセラーや専門の相談員があなたの話を丁寧に聞きします。

直接来て相談することに不安がある場合は、電話やメールによる相談をご利用いただけます。

このほか、学校への通いづらさや集団で過ごすことに不安がある子どもたちを対象として、多様な教育機会や居場所の充実に向けた取組も実施しています。（問合せや見学は、随時受け付けています。）



相談支援

☆来所相談 **予約電話：088-821-9909** ※前日までに予約が必要です。祝日・年末年始を除きます。

①高知県心の教育センター（高知市大原町120-1）

月～金曜日、土曜日（第1・3）、日曜日（第1～4） 午前9時～午後5時

②東部相談室（田野町総合文化施設 ふれあいセンター内） ③西部相談室（幡多総合庁舎 別館）

木曜日 午前10時～午後5時 火曜日 午前10時～午後5時

☆電話相談 **電話：088-821-9909**

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 ※祝日・年末年始を除きます。

心の教育センターHPは
↓こちらから



☆24時間子どもSOSダイヤル **電話：0120-0-78310**（通話料無料）

☆メール相談 **kodomo24@g.kochinet.ed.jp**

居場所等

ココロ オンラインサポート

メタバース空間などを使って、オンラインでの学習支援や交流活動の場を開設しています。

中高生等の居場所 Kochi Teens Base

学習支援や交流・体験活動の場を提供しています。学生ボランティアやスタッフがサポートします。

ことことパーク

少人数での遊びや体を動かす活動などを通して、楽しみながら安心して過ごせる居場所です。

ほっとgarden

子育てに悩みのある保護者の方々が、交流を通して日々をねぎらったり、ほっとしていただいたりするための居場所です。

今後の「夢のかけ橋」で、詳しくご紹介する予定です！



詳しくは、高知県心の教育センターホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/311902/>



高知県心の教育センター
TEL：088-821-9900

教育相談スキルアップ講座のご案内 ～ 子ども理解やチーム支援について一緒に学びませんか？ ～

学校や教育支援センターなどにおいて、児童生徒理解や支援力の向上など、教育相談の充実を図るための講座です。通年での受講をお勧めしますが、希望する回のみでの受講も可能です。また、会場参加・ライブ配信から参加方法を選べるので、校内研修などの所属研修として活用いただくこともできます。

ぜひ、各職場から教職員みなで受講し、所属研修としてご活用ください。

日程（全回午後開催）	テーマ
第1回 5月28日（木）	子どもの「今」を捉える多角的な視点
第2回 8月28日（金） ※県外から講師をお招きします。	現代の子どもが抱える「生きづらさ」の構造 講師：関西外国語大学 英語国際学部 教授 土井 隆義 氏
第3回 10月7日（水）	しんどさを抱える子・保護者への寄り添いと対話のスキル
第4回 1月18日（月）	持続可能な校内支援体制の構築に向けて



開催要項は、4月下旬に心の教育センターHP掲載予定です。



詳しくは、高知県心の教育センターホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/311902/>



高知県心の教育センター
TEL：088-821-9900

学校や社会教育・行政等の関係者で構成する「令和7年度第2回高知県地域学校協働活動推進委員会」を令和8年2月6日（金）に開催し、「持続可能なコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について」をテーマに協議が行われました。教員の業務負担軽減に繋がる活動にするためにはどうしたら良いかに着目し、テーマの枠を超えた活発な議論が交わされました。

業務負担軽減に対する委員からの意見と東京都杉並区の事例

【活動の目的と現状のズレ】

学校・家庭・地域が連携し子どもを育むことには賛同しつつも、いつの間にか教員の業務負担軽減が主目的となっている。業務負担の具体的な内容が不明確で、ボランティアが教員業務の補完役になることは本来の趣旨と異なるのではないか。



まず取り組めること・取り組むべきことは何か、話し合うことが大切です。

CS×働き方改革（東京都杉並区立天沼小学校）

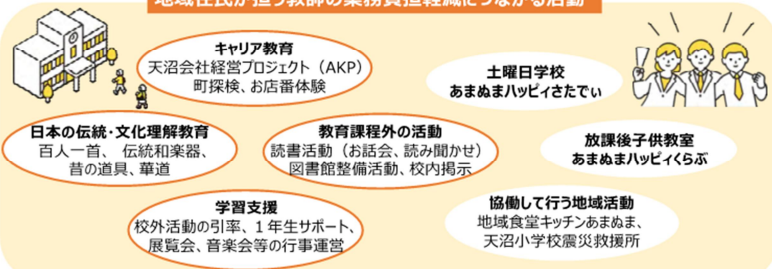
杉並区では、全公立学校で学校運営協議会を設置。学校運営協議会において承認された学校の基本方針のもと、学校支援本部で地域の人々が関わる地域学校協働活動を展開しており、近年は学校の働き方改革に資する活動が充実。

学校運営協議会における棚卸し

学校運営協議会で、協議会委員と教師による熟議を通して、学校の業務・活動等の棚卸しを実施。教師の困り感を共有し、お互いの立場を尊重し合いながら分担等の協力を推進。



地域住民が担う教師の業務負担軽減につながる活動



【令和8年1月28日 文部科学省 令和8年度 地域と学校の連携・協働体制構築事業担当課説明会 より】

本県の学校現場に対する委員からの意見

1. 教員不足と負担軽減の現状

- ・教員不足が深刻で、新規採用者が減少し、早期退職も一定数ある。
- ・給与増加や時間外勤務の上限設定は進んでいるが、負担軽減の意義が十分に伝わっていない。

2. 教員の魅力向上が急務

- ・若い世代はワークライフバランスを重視し、多様な業務負担のため教員志望者が減少している。
- ・地域と連携しつつ、教員という仕事の魅力を高め、志望者を増やす取り組みが必要。

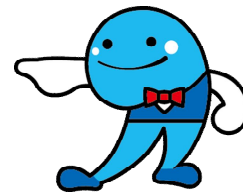
3. 業務の偏り改善と支援体制の強化

- ・独身の教員や部活動担当者に負担が偏る傾向がある。
- ・適切な業務管理と外部支援の活用により、教員が働きやすい環境づくりが求められている。

教員の働き方改革も重要だが、もっと深刻なのは**教員不足という「人の問題」**



教員の魅力 UP のために→教育に携わりたい学生へのアプローチの見直し
地域を巻き込みながら→教員という職業の魅力推進



とさまざまなチャンネル
公開中！



詳しくは生涯学習課ホームページをご覧ください。
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/310401/>



生涯学習課 地域学校協働支援担当
TEL : 088-821-4897



オーテピア高知図書館には、
商品開発やビジネスプランの企画立案に
役立つ資料やサービスがいっぱい！
先行商品・業界研究や、地域課題の探究学習の
場面で、商業・ビジネス関連の学びを深める
武器になります。

【こんなお悩み、ありませんか？】

- 学習に適する資料が学校図書館に足りない
- 課題に対する調査がネット検索ばかりになる
- 生徒に情報収集力を身につけさせたい

【図書館を使えば…】

- ➔ オーテピアの本を 300 冊/1 か月貸出可能！
- ➔ 館内でデータベースや専門事典が閲覧可能！
- ➔ 図書館活用講座を無料で実施！

R7年度 高等学校の図書館活用例

Q.生徒が神池芋を使った商品開発を行っている。神池地区でとれる神池芋の歴史を知りたい。

A.当館にある高知新聞データベースでの記事検索の結果や、国立国会図書館デジタルコレクション内の情報、『サツマイモのきた道』『農業技術要覧 楠農報』などの資料を紹介。

Q.生徒が企業の倒産についてレポートを作成している。過去に大企業が倒産した理由を知りたい。

A.『あの会社はこうして潰れた』『巨大倒産「絶対潰れない会社」を潰した社長たち』などの資料 20 点を紹介。



先生からの声



調べものをしたり、レポートをまとめたりする際によく利用しています。オーテピアには SNS 等では得られないさまざまな本との出会いがあります。物事を深く掘り下げて考えたり、多様な見方や考え方を知ることができ、なくてはならない場所です。



子どもたち自身が主体的にかかわり、体験的で深い学びを身につけていくためには、多様な図書資料を活用していくことが有効です。学校図書館は蔵書も限られるため、実際の授業ではオーテピアの本を活用しています。たくさん本に囲まれ、生き生きとした子どもたちの姿が見受けられます。

図書館活用講座のご案内

- ・ 根拠のある情報の調べ方やデータベースの使い方を知りたい
- ・ 生徒により深い探究をしてもらいたい
- ・ 授業に図書館を使ってみたい

そんなときは、図書館活用講座をご利用ください！学習に役立つ図書館の使い方を、生徒や教員向けに司書が説明します。オーテピア高知図書館内 県立図書館支援協力担当（県立学校・高等学校担当）までご連絡ください。



オーテピア高知図書館ウェブ・サイトはこちら。
[https:// otepia.kochi.jp/library/](https://otepia.kochi.jp/library/)



オーテピア高知図書館（高知県立図書館）
支援協力担当（県立学校・高等学校担当）
TEL:088-802-6005 Email:shien@library.kochi.jp

GIGA スクール端末をもっと活用してみませんか？～電子書籍サービス

利用申込みをしていただくと、2つの電子書籍サービス「高知県電子図書館」・「KinoDen（キノデン）」の合計約1万3千点の電子書籍をいつでも・どこでも・無料で利用できます！

＜現在、県立学校の大半と県内10市町村の小中学校の児童・生徒・教職員（累計6万7千人超）が登録済＞
一度登録すれば卒業まで利用できます。既に登録済みの学校の新入生・転入生の登録もお待ちしています！

申込方法

利用申込みには以下のとおり、取りまとめが必要です。

- 【 県立学校 】… 学校単位で取りまとめを行った後、高等学校課・特別支援教育課へ報告してください。
(取りまとめに必要な同意書や報告方法は校務支援システムに掲示されています。
不明な場合は一度、自校のタブレット端末担当教職員にご確認ください。)
- 【 市町村立学校 】… 登録は原則、各市町村の教育委員会を通じて行っています。

- ※ 電子書籍サービスを利用する際は、インターネット接続が必須です。
- ※ google アカウント (〇〇@g.kochinet.ed.jp) の「〇〇」部分を利用者 ID として活用しています。
- ※ 個人でも登録できます。オーデピア高知図書館のウェブ・サイト「高知県電子図書館の利用登録について」をご覧ください。ただし、google アカウントは活用できません。

貸出型電子書籍サービス



高知県電子図書館に
小学生・中学生向けの **読み放題** ペックが
いつでも待たずに 何人でもみんなで読める
朝読や調べ学習にも！



- ◆ 小説・文芸・児童書など一般書を中心に提供しています
- ◆ 約8,000点の電子書籍が読めます
- ◆ 洋書コンテンツも含め一部の本は、音声読み上げができます
- ◆ 複数人の同時アクセスが可能な読み放題の本もあります
- ◆ 生徒が作成した探究学習の成果物も掲載しています



⇐ 高知県電子図書館 について
詳しくはこちらから

- ① 『蒼き太陽の詩』1～3 (日崎 アユム/著, KADOKAWA) ※2026.4 時点
- ② 『RDG レッドデータガール』1～6 (荻原 規子/著, 角川書店)
- ③ 『僕とおじいちゃんと魔法の塔』1～6 (香月 日輪/著, 角川書店)
- ④ 『ホーンテッド・キャンパス』1～19 (櫛木 理宇/著, KADOKAWA)

閲覧型電子書籍サービス キノデン



- ◆ 専門書・一般教養・実用書を中心に提供しています
- ◆ 約5,000点の電子書籍が読めます
- ◆ 一部の本は音声読み上げができます
- ◆ タイトルだけでなく本文内の検索ができ、調べものにも役立ちます！

こんな本が読めます (抜粋)



⇐ KinoDen について
詳しくはこちらから

「高知県電子図書館」サイト内にある「KinoDen」のリンクからアクセスできます

- ① 『AI時代の質問力』(岡瑞起, 橋本康弘/著, 翔泳社)
- ② 『生徒の心に寄り添う進路指導の言葉かけ』(三村隆男【編著】, 東洋館出版社)
- ③ 『ICTで最適化 高校教師の仕事アップデート』(靱山英輝/著, 明治図書出版)



高知県電子図書館ホームページはこちら
<https://web.d-library.jp/kochi/g0101/top/>



高知県立図書館 電子図書館担当
TEL : 088-802-6005

高知県教育委員会では、公式YouTubeチャンネル「とさまなチャンネル」を開設し、高知県の特色ある教育施策や学校の取組、きらっと光る子どもたち・先生たちの姿などを発信しています。

さらに、生涯学習・幼児教育の大切さや先生の仕事の魅力についてもお届けしていますので、ぜひご覧ください！



詳しくはYouTubeチャンネル『とさまなチャンネル』をご覧ください。
<https://www.youtube.com/@user-dx7bm9tn8h>



教育政策課 教育企画担当
 TEL : 088-821-4731

＜発行者＞ 高知県教育委員会事務局教育政策課
 TEL : 088-821-4731 FAX : 088-821-4558 E-mail : 310101@ken.pref.kochi.lg.jp
 高知県教育委員会 WEB サイト : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>
 ※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

